

令和3年度 第5回ひと咲きまち咲きあまがさき推進会議

日時：令和3年9月14日（火） 10：30～11：30

開催手法：WEB会議

1. 開会

座長： 1点目として主要取組項目について、現在の総合計画に10年間取り組んできた中で、時代の変化や課題の認識をし、今後の10年間取り組みを進めていく方向性について、また、2点目として財政の規律、目標について情報共有したい。

2. 第6次尼崎市総合計画 主要取組項目（案）について

事務局より資料に基づいて説明

座長： 今後5年、10年を見通せているものについて、網羅的に記載しているが、主要取組項目として全てを記載していくのが良いのか、もう少し絞る方が良いのかも含めて検討中であるため、意見をいただきたい。

委員： 総合指標について、「まちのイメージが改善したと感じる市民の割合」を新たに設定しようとしているが、ネガティブな指標になっているため、ポジティブなものも入れた方が良いのではないか。

座長： イメージについては、課題認識もあることから案として提示しているが、総合指標については、改めて検討を進めたい。また、総合指標と主要取組項目のつながりが見えにくいという印象は受けている。例えば、ささえあい（社会的包摂）や脱炭素や経済の活性化等が総合指標とのつながりが薄いように感じる。基本構想の「尼崎らしいありたいようす」とはつながっているように思えるが、指標とのつながりが見えるようにした方が良いのではないかと考えている。なお、市民参画指数を総合指標と据えるかどうかはまだ確定ではないと思っている。

委員： 「安心して産み育てられる」という中項目には色々な要素が入るはずであるが、小項目が一つしかなく、他の中項目と比べてバランスが悪いように感じる。

委員： 脱炭素を目指すという大きな目標はその通りであるが、表現として、「経済・環境

共生プロジェクト」とすると「共生」が強調されすぎてしまう。一方で、「サーキュラーエコノミーについて」と記載すると、言葉の認知度を考えた際に、イメージが沸きにくい可能性がある。この分野では、経済活動と環境は裏表だと表現したいがそれが難しい。また、指標については、現在の総合計画の各施策からピックアップしてくると、縦割り感が出てしまうため、そこに捉われない指標の設定を考えたい。

総合指標について、「まちのイメージ」については、住んでいる市民の実感というよりも、他都市の人から悪口を言われたことがある、といったような指標になってしまうのではないかな。

座長： 主要取組項目を表現するのにあたり、細かく項目を記載しているため、縦割り感が出てしまっている。施策間連携を考えることが重要であることから、施策や局をまたいだ組み換えを進めたい。また、指標については、環境と経済を両輪で測ることのできるものなどを考えたい。安心や福祉についてはファミリー世帯をターゲットにするのか、全体的な視点とするのかは今後も検討を続けたい。

委員： 総合指標については、ターゲットとしている「ファミリー世帯」ではなく、「参画の取組もしていない」層も暮らしに満足している可能性もある。そういった方の満足度といったポジティブな指標についても検討してほしい。また、資料第1号の「検討が必要な視点」として、「6地区の特色を活かしたまちづくり」と記載してあるが、すでに行政区という考え方は無いので、削除した方が良いのではないかな。

座長： 行政区については削除した方が良いという指摘はそのとおりであるため修正する。また、現在の案は、整理のために当面取り組むべき項目を挙げているが、細かすぎて主要取組項目と言い辛くなっている。前期の期間である今後5年を見据えてどこを重点化するのかといった、もう少し大きな視点で捉える必要がある。また、インフラ系について、ブランディングを打ち出しているが、審議会からは防災の視点が必要ではないかと指摘をいただいております、主要取組とすべきかどうか検討が必要。

総合指標については、「イメージが良くなった」と設定することは、現在の課題認識が前面に出すぎるため、審議会からの意見も踏まえて検討したい。

今後の進め方として、審議会に主要取組項目を提示する前にもう一段階ブラッシュアップして共有した方が良いのではないかと考えている。

3. 第6次尼崎市総合計画 行政運営（案）について

事務局より資料に基づいて説明

委員： 「デジタル化を通じた持続可能な市民サービス及び最適な業務執行体制の確立」とあるが、市民サービスの向上を主目的としてデジタル化を行うため、「デジタル化を通じた市民サービスの向上と持続可能で最適な業務執行体制の確立」としてほしい。

座長： 両輪で取り組んできた総合計画と行財政改革計画「未来へつなぐプロジェクト」において、この10年間、都市の体質転換を掲げ、歳出削減、構造改善という減量型だけではなく、政策的な要素と費用の最適化という要素に一体的に取り組んできた。そうした中、この両輪を一本化し、持続可能な行財政基盤という要素を総合計画に位置付け、一体的に取り組を進めるとともに、市民との共有を図れるようにしたい。

委員： 今後、財政運営方針を策定する予定としているが、10月の中旬を目途に調整会議で報告をさせていただきたい。なお、財政運営方針については、従来の減量型の行財政改革から、財政規律を重視する方向へ変わったということを打ち出した方針としたい。

座長： 現行の「未来へつなぐプロジェクト」の後期5か年については、具体的な財政規律を明確に打ち出して運用してきた。今後についても財政規律を柱にして予算編成と市政運営を進めたい。

以 上